

VMware vCloud Air 主要な概念

vCloud Air

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA-001397-00

vmware®

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2014 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。著作権および商標情報。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

VMware株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

この主要概念ガイドについて 5

1 主な用語 7

2 vCloud Air ユーザー ロールについて 13

 vCloud Air ユーザーの管理 13

 ロール別のユーザー権限 13

インデックス 15

この主要概念ガイドについて

このドキュメントでは、vCloud Air（以前の vCloud Hybrid Service）で使用される用語を定義します。

VMware vCloud Air は、VMware が所有および運用する安全な専用 IaaS (infrastructure-as-a-service) クラウドで、VMware vSphere の信頼できる基盤とソフトウェア定義のデータセンター アーキテクチャ上に構築されています。

対象者

このドキュメントの対象読者は、vCloud Air の重要なコンポーネントおよび主要な用語について理解することを願うすべてのユーザーです。

関連出版物

『vCloud Air ユーザー ガイド』には、vCloud Air に関する詳細な情報と、このドキュメントに関連する概念の詳細が記載されています。

このガイドおよび他の VMware のドキュメントを入手するには、<http://www.vmware.com/support/pubs> にアクセスしてください。

主な用語

このリストは、vCloud Air の理解に関連する用語をまとめたものです。ここには、読者にとって初めての用語、一般的ではない用語、または特別な意味を持つ用語などが含まれています。

A-F

カタログ	コンテンツを保存するために使用されます。組織ごとに独自のカタログがあり、ユーザーはカタログにテンプレートを追加したり、他のユーザーとコンテンツを共有したりすることができます。vCloud Director を使用すると、ISO メディア ファイルもカタログを利用してアップロードおよび共有することができます。
CPU リソース	CPU (vCPU) の仮想化では、直接実行で実行することができる仮想マシン ワークロードの割合および直接実行することができない残りの命令を仮想化するためのコストに応じてオーバーヘッドが追加されます。したがって、使用可能な CPU の量はパフォーマンスに影響を与えます。
コロケーション	顧客の機器をサードパーティのデータ センターに配置すること。サービス プロバイダまたはクラウド コンピューティング プロバイダが、顧客の Web サーバのフロアスペース、電源およびインターネットへの高速リンクを提供します。コロケーションはサーバの電源と空調を提供し、機器の保守とトラブルシューティングを含む場合もあります。コロケーションによって相互接続を容易にし、応答時間を改善することができます。
データ保護	24 時間購入可能な、仮想マシンをバックアップするオプションのデータ バックアップ機能。テクニカル サポートへ問い合わせることで、仮想マシンをそのバックアップイメージを使用してリストアすることができます。
Dedicated Cloud サービスオプション	vCloud Air のサービス オプションは、専用のコンピューティングサーバ、ワークロードトラフィックのためのレイヤー 2 ネットワーク隔離、永続ストレージ ボリューム、および専用のクラウド管理インスタンスを含むシングル テナントのプライベートクラウドを提供します。インフラストラクチャの容量は、単一の仮想データ センターと複数の仮想データ センターのどちらにも自由に割り当てることができます。
Direct Connect	vCloud Air では、社内またはコロケーション センターと、vCloud Air の地域間の直接ネットワーク接続をオーダリングすることができます。直接ネットワーク接続を使用すると、Dedicated Cloud サービスまたは Virtual Private Cloud サービスに対する一定の専用バンド幅を確保することができます。

G - L

ゲートウェイ

仮想データセンターのネットワークと外部ネットワーク間にルーティングされた接続を提供します。これは、DHCP、ファイアウォール、NAT、VPN、固定ルーティングおよび負荷分散などのネットワーク サービスを提供することができます。

ゲスト OS

仮想マシンの内部で実行するオペレーティングシステム。

制限

vCloud Director では、仮想マシンに割り当てることができる CPU およびメモリ リソースの上限を指定することができますが、アイドル リソースが浪費される場合があります。仮想データセンターは仮想マシンに対して予約された量を超えるリソースを割り当てることができますが、たとえシステム上に未使用のリソースがあったとしても、上限を超える量を割り当てることはありません。メモリの制限が制限なしのときは、ほとんどの場合、仮想マシンを作成するときに構成されたデフォルトのメモリの量が効果的な制限になります。

M - R

メディア ファイル	メディアは、ブートやインストール CD または DVD などの ISO イメージを指します。メディアは、vCloud Director のカタログにアップロードまたはインポートすることができます。カタログのメディア イメージを vApp に添付し、仮想マシンによってマウントすることができます。
メモリ リソース	ホストの物理メモリにマップされる仮想メモリ。
My VMware	資格を管理し、新しいアドオンを購入し、サポート リクエストを提出するためのアカウント管理ポータル。
ネットワーク アドレス変換 (NAT)	エッジ ゲートウェイで送受信されるソース/ターゲット IP アドレスまたはパケットを変更します。SNAT と DNAT は、それぞれソース ネットワーク アドレス変換とターゲット ネットワーク アドレス変換を表します。
ネットワーク	vCloud Air では、仮想マシンと他の仮想マシン間、仮想マシンと仮想データ センター間、仮想データ センターとホストの物理ネットワーク間の仮想接続を意味します。これらのネットワークは、物理的なネットワークと同様、マシン名、IP および VPN 設定などの仮想マシンに関する情報を要求します。仮想データ センターは複数のネットワークを使用することができます。
Offline Data Transfer Service	サイズの大きなファイルをローカルの情報システムから vCloud Air 環境に転送するための、オプションで購入可能なデータ移行サービス。VMware は、データをロードして VMware に返却する物理ストレージ デバイスを提供します。ロードされたストレージ デバイスを受け取ると、VMware はデータを転送します。
OVF	Open Virtualization Format (OVF) パッケージは Open Virtualization Format の仕様に基づきます。OVF は、仮想マシン イメージに関するメタデータを XML 形式で記述する業界標準の形式です。OVF は、vApp の使用を容易にします。アップロードする OVF ファイルに仮想マシンをカスタマイズするための OVF プロパティが含まれている場合、それらのプロパティは vApp テンプレートに保持されます。
クォータ	仮想データ センターに格納してパワーオンできる仮想マシンの数。
地域	明確に区別される地理的な領域。クラウド サービスを購入する場合は地域 (複数可) を選択します。地域を選択すると、ビジネス固有の顧客によりふさわしいワークロードを実行できますが、各種の規制やその他の法的要件を遵守する必要があります。複数の地域に、データまたはワークロードを重複させることができます。
内部リストア	バックアップ イメージを選択し、そのイメージを同じ vApp にリストアすることで、仮想データ センターおよび仮想データ センター内で維持される仮想マシンに対するデータ保護を提供します。
外部リストア	バックアップ イメージを選択し、そのイメージの外部に新しい vApp を作成することで、仮想データ センターおよび仮想マシンに対するデータ保護を提供します。新しい vApp は、元の vApp によって使用されるのと同じデータ センターにも、別の仮想データ センターにも作成することができます。内部リストアを実行すると、vApp 構成データ、仮想マシン構成データまたは仮想マシン ネットワーク構成はリストアされません。

リストア ポイント

vApp が (システムによって自動的に、または手動で) バックアップされると、データ保護サービスはデフォルトで 30 日間そのバックアップをリストア ポイントとして保持します。保持期間が過ぎると、データ保護サービスは自動的に最も古いリストア ポイントを削除して上書きします。

S - Z

スナップショット

スナップショットを作成した時点の仮想マシンの状態の再現。仮想マシンの全ディスクデータの状態と、仮想マシンの電源状態 (オン、オフ、またはサスペンド) を含みます。仮想マシンの電源がオン、オフ、サスペンドのいずれの場合でもスナップショットを作成できます。構成または仮想マシンをスナップショットに戻すことができます。

SSD 高速化ストレージ

SSD 高速化ストレージは、仮想マシンのより高度なパフォーマンスのブロック ストレージを提供します。SSD 高速化ストレージは、すべての階層 (1、2 および 3) に適していますが、Tier 1 データに使用することが最も推奨されます。Tier 1 には、ミッションクリティカルなデータ、頻繁にアクセスされるデータ、または高度のセキュリティが要求されるデータが含まれています。Tier 1 には、たとえば、3 層アプリケーションの一部であるアクセス頻度の高いデータベース、ホスト キャッシュ、または仮想マシン ブート (プライマリ) ディスクなどがあります。

標準ストレージ

標準ストレージは、仮想マシンの従来のブロック ストレージを提供します。標準ストレージは比較的 low コストで、Tier 2 および Tier 3 データのストレージに適します。Tier 2 および Tier 3 には、使用頻度の低いデータまたはイベント ドリブン データが含まれます。Tier 2 および Tier 3 のデータには、たとえば、ログ ファイル ストレージや大規模な固定データ セットのアーカイブなどの大規模なデータ セットが含まれます。

ストレージ階層

vCloud Air では、仮想データ センター内の仮想マシン レイヤーでカスタムの柔軟なストレージ リソース分散と管理を可能にする、ブロック レベルの永続的なストレージ容量の割り当てを意味します。vCloud Air では、仮想マシン用ストレージをより高パフォーマンスまたはより低コストのストレージ階層のいずれかに指定できます。階層

	化されたストレージは、各種カテゴリのデータを各種のストレージメディアに割り当てるもので、これによりストレージの総費用を削減します。vCloud Air は、仮想マシン用の標準ストレージおよびSSD 高速化ストレージの2つのストレージ階層を提供します。
テンプレート	オペレーティングシステム、アプリケーションおよびデータがロードされる仮想マシンイメージ。テンプレートはvCloud Director のvApp から作成することができます。
vApp	動作の詳細を定義するアプリケーションとパラメータをパッケージ化するvCloud Director 内で事前構成された仮想マシン。vApp は、必要なオペレーティングシステムとともにアプリケーションをパッケージ化します。
vCloud Air カスタマー サクセス チーム	新規顧客にサービスを紹介してオンボーディング アクティビティを調整するサブスクリプション サービスのvCloud Air 顧客担当者。また、担当者は顧客がサービスを完全に活用できるように常に協力し、必要なVMware リソースを調整します。
仮想データ センター	コンピューティング、ネットワークおよびストレージ リソースを組織に提供する論理的な構造物。仮想データ センターは、仮想マシンを作成、格納、操作し、それによってインフラストラクチャ サービスの消費と基本となるリソース間での完全な抽象化を可能にする環境を提供します。データ センターはまた、仮想メディアのストレージを提供します。
仮想マシン	物理コンピュータのようにオペレーティングシステムとアプリケーションを実行するソフトウェア コンピュータ。仮想マシンは物理コンピュータのように扱うことができます。たとえば、パワーオンとパワーオフ、リセット、バックアップなどの操作ができます。
Virtual Private Cloud サービス オプション	共有された物理インフラストラクチャ上にリソースを論理的に隔離したマルチテナントの仮想プライベートクラウドを提供するvCloud Air のサービス オプション。ネットワーク リソースを備えた単一の仮想データ センターとして構成されます。Virtual Private Cloud サービスは単一の仮想データ センターとして提供されるので、ユーザーはVirtual Private Cloud サービスで複数の仮想データ センターを構成することはできません。
VMware vCloud Connector	vSphere またはvCloud Director からプライベートおよびパブリッククラウドまでコンピューティングの容量と可視性を拡張することができる仮想アプライアンス。また、プライベートおよびパブリッククラウドでのvApp とテンプレートへのアクセスと使用、およびvSphere とプライベートおよびパブリッククラウド間での仮想マシン、vApp およびvApp テンプレートのコピーも可能です。
VMware vCloud Director	仮想データ センターのカatalog、テンプレートおよび仮想マシンへのアクセスを提供し、高度な管理タスクを実行するためのWeb コンソール。
VMware Global Services	テクニカル インシデント エンジニアおよびソリューション アーキテクトで構成されるVMware テクニカル サポート チーム。テクニカル インシデント エンジニアはテクニカル サポートの主要な窓口としての役割を果たし、サポート リクエストの所有権を保持し、必要に応じて他のVMware チームと連携します。ソリューション アーキテクトは高度な経験を持つ技術コンサルタントで、複雑な顧客のシナリオの設計と実装、およびvCloud Air 環境で発生する難易度の高い技術的な問題の解決を担当します。
VMware Tools	仮想マシンのゲストOSのパフォーマンスを強化し、仮想マシンの管理機能を向上させるための一連のユーティリティ。

VMware vSphere High Availability

ESXi と vCenter を含む環境内で分散可用性サービスをサポートするオプションの機能。VMware Distributed Resource Scheduler™ が構成され、vCenter Server が管理するホストの 1 つが利用できなくなると、そのホストのすべての仮想マシンがすぐに別のホスト上で再起動します。

vCloud Air ユーザー ロールについて

このセクションでは、vCloud Air ユーザー ロールに関する一般的な情報を提供します。

詳細については、『vCloud Air ユーザー ガイド』を参照してください。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vCloud Air ユーザーの管理 \(P. 13\)](#)
- [ロール別のユーザー権限 \(P. 13\)](#)

vCloud Air ユーザーの管理

管理者は、vCloud Air に新しいユーザーを追加し、それらに 1 つ以上のロールを割り当てます。ユーザー ロールには、デフォルトの権限グループがあります。クラウドに複数の仮想データ センターが含まれる場合、管理者は提供されるユーザー リストを使用して各仮想データ センターにアクセスを割り当てます。

管理者は、ユーザーとその詳細情報を管理したり、アクティビティ ログでユーザーのアクティビティを確認したりできます。

ロール別のユーザー権限

vCloud Air のユーザーは管理者権限またはエンド ユーザー権限を保有できますが、両方は保有できません。管理者権限は、特定の管理者ロールにグループ化されます。管理者の個々の操作には複数の管理者ロールを割り当てることができます。

専門化された管理者ロール

専門化された管理者ロールにより、単一または複数のユーザーにこれらのタスクを実行するロールを割り当てることができます。

仮想インフラストラクチャ管理者

仮想インフラストラクチャ管理者は、Dedicated Cloud サービスの仮想データ センターを追加または変更できます。仮想インフラストラクチャ管理者は、仮想マシンを管理できます。ゲートウェイ、ネットワーク、アクティビティ ログ、およびユーザーを表示することもできます。

アカウント管理者

アカウント管理者は、ユーザーを追加し、パスワードをリセットできます。このロールにより、任意またはすべての管理者権限を保持するユーザーを作成できます。アカウント管理者は、仮想データ センター、仮想マシン、ゲートウェイ、ネットワーク、およびアクティビティ ログも表示できます。アカウント管理者は My VMware でユーザーアカウントを管理し、サポート リクエストを提出する権限を保持できます。

ネットワーク管理者

ネットワーク管理者は、ネットワークとゲートウェイを管理できます。ネットワーク管理者は、仮想データセンター、仮想マシン、アクティビティログ、およびユーザーも表示できます。

読み取り専用管理者

読み取り専用管理者は、管理領域の設定を表示できますが変更することはできません。読み取り専用管理者は、仮想データセンター、仮想マシン、ゲートウェイ、ネットワーク、アクティビティログ、およびユーザーを表示できます。

エンドユーザー ロール

エンドユーザーは、各自がアクセス権を割り当てられている仮想データセンター内に仮想マシンを作成して管理します。エンドユーザー ロールには次の手順が含まれます。

- VMware カタログと My Catalog のテンプレートおよび各組織のカスタム テンプレートに基づいて仮想マシンを追加します。
- vCloud Director に仮想マシンを作成します。
- 仮想のデータセンターの仮想マシンのパワーオン、パワーオフ、リセット、およびサスペンドを行います。
- 仮想マシンのスナップショットを使用します。
- 仮想データセンターから仮想マシンを削除します。

インデックス

記号

- ロール
 - エンドユーザー 13
 - システム管理者 13

さ

- サポート リクエスト、提出 13

し

- 主要な概念、本ガイドについて 5

た

- 対象読者 5

て

- 定義 7

ゆ

- ユーザー管理、概要 13
- ユーザー ロール、全般情報 13

よ

- 用語集 5,7

ろ

- ロール別の権限 13

